

## 2011 トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会について

今回の大会は、当初5月に開催予定でしたが、東日本大震災の福島第一原発事故の影響を受け、9月に日程を延期し開催されました。

### 1 2011 トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会の開催結果

#### (1) 開催日・参加者数

36の国と地域から1,137人が参加

今大会はエイジの部（一般参加）を新たに設置。観る大会だけでなく、市民自らが参加できる大会として開催いたしました。

開催日	区 分	年 齢	参加者		完走者(完走率)
平成23年 9月18日(日)	エイジ(パラ)	28～55歳	4人	1,017人	978人 (96.2%)
	エイジ(男女)	19～77歳	1,013人		
平成23年 9月19日(祝)	エリート女子	18歳以上	55人	120人	99人 (82.5%)
	エリート男子	18歳以上	65人		
合 計			1,137人		1,077人(94.7%)

#### (2) 開催場所・距離

山下公園をスタート・フィニッシュ地点とし、関内・山下地区、赤レンガ倉庫周辺  
(エイジは山下公園、山下ふ頭、新山下地区、象の鼻パーク周辺)

水泳1.5km、自転車40km、ランニング10km 合計51.5km (パラは各半分の25.75km)

#### (3) 試合結果

エリート大会優勝者			
区 分	選 手 名	国 名	備 考
エリート女子	アンドレア・ヒューイット	ニュージーランド	2011年 世界ランキング第2位
エリート男子	ジョアオ・シルバ	ポルトガル	2011年 世界ランキング第13位

#### ※日本人選手の活躍

女子：上田 藍 (うえだ あい) 選手 8位入賞

男子：細田 雄一 (ほそだ ゆういち) 選手 10位

#### (4) 観戦者数

333,000人(2日間) ※9月18日(日) 98,000人、19日(祝) 235,000人

### 2 評価

(1) 世界最高峰の大会を間近で多くの市民が観戦し、トライアスロンの普及や啓発に寄与した。

(2) NHK-BS1での生放送及び世界120か国以上へのテレビ放映や世界各国の人々が訪れることにより、横浜の魅力を世界中にPRでき、シティーセールスに繋がった。

(3) 震災後最大規模の国際競技大会の開催により、改めて横浜の安全性をアピールできた。

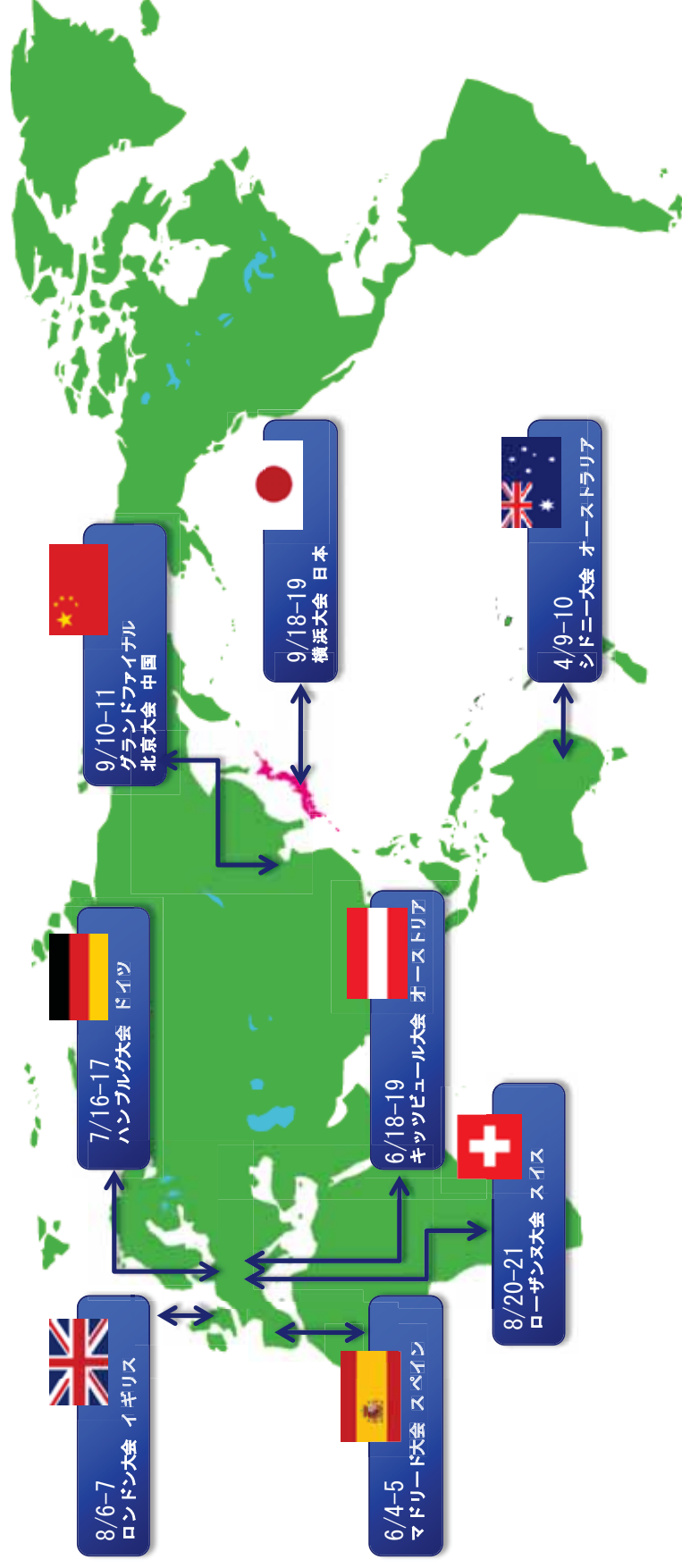
## 《参考》 トライアスロン世界選手権シリーズとは？

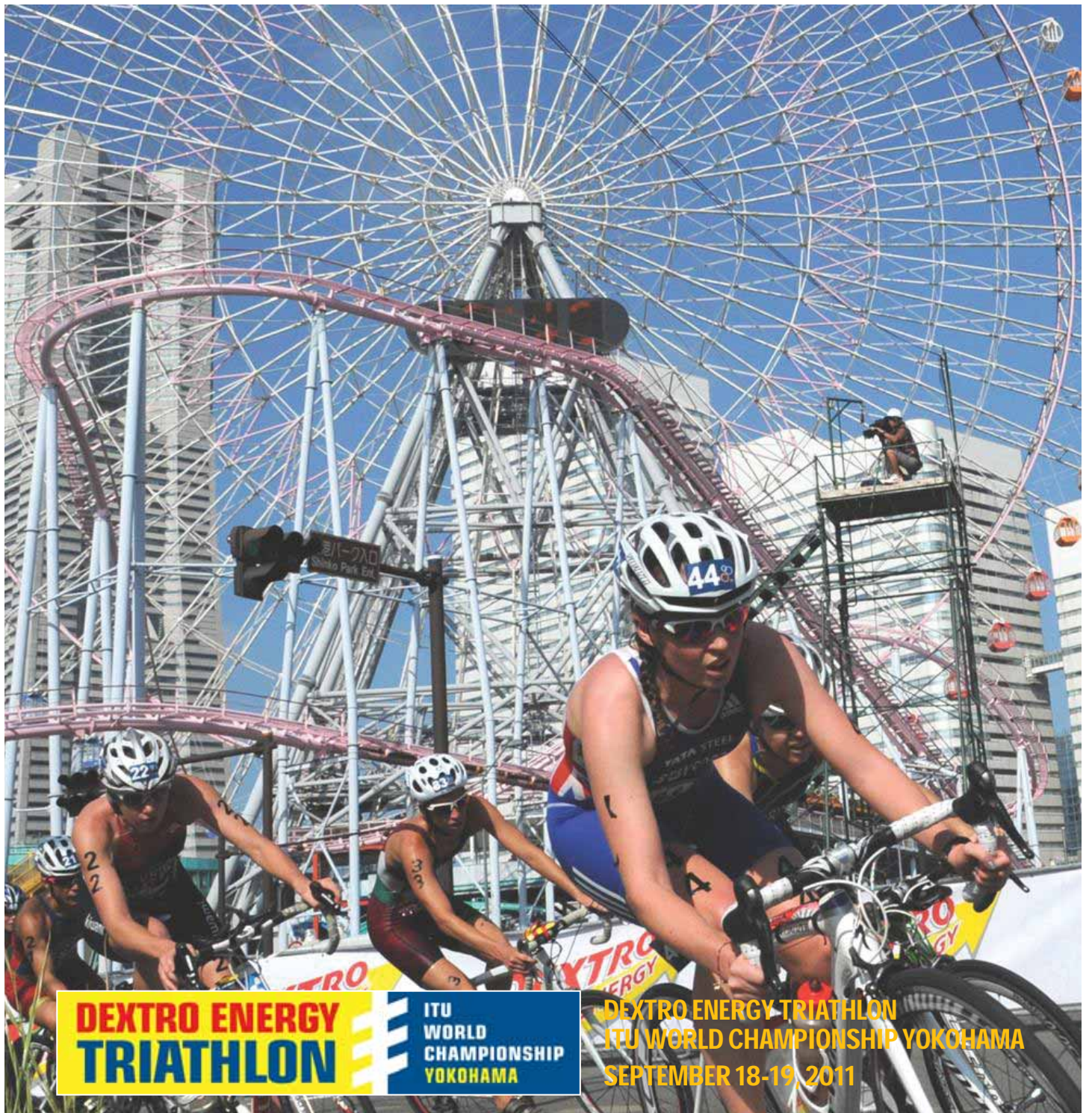
トライアスロン世界選手権はトライアスロン最高峰の国際大会で、2009年シーズンより年間シリーズ化されました。2009年に開港150周年記念事業として行われた「横浜国際トライアスロン大会」は、この世界選手権シリーズの第7戦として開催いたしました。

選手は世界8か国を転戦し、横浜大会を含め今年の世界選手権シリーズで獲得したポイントは、2012年ロンドン五輪の出場枠を取得するためのポイントにも換算されます。

※現在、ロンドン五輪に出場が決定している日本人選手は、上田 藍選手 1名です。

### 2011 世界選手権シリーズ開催地





DEXTRO ENERGY TRIATHLON  
ITU WORLD CHAMPIONSHIP YOKOHAMA  
SEPTEMBER 18-19, 2011



● エリート競技風景



# 9月18日(日)：エイジ大会

## ● パラトライアスロン競技風景



## ● エイジ競技風景



パスタパーティー・競技説明会等

